

記者発表資料  
令和4年5月11日  
保健福祉部疾病・感染症対策課  
大崎保健所栗原支所  
担当：高橋・榊原  
電話：022-211-2632  
担当：石倉・横野  
電話：0228-22-2118

## 新型コロナウイルス感染症患者情報の流出について

大崎保健所栗原支所の職員が、管内の事業所に新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者等を記載する様式（電子ファイル）をメール送信した際、誤って他事業所の患者情報を含んだものを送付した事例が本日判明しました。

当該患者をはじめ、関係者の皆様に多大な御心配と御迷惑をおかけしましたことにつきまして、心からお詫び申し上げます。

### 記

#### 1 内容

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、保健所が疫学調査を実施する際に、事業所から濃厚接触者等に関する名簿の提供を受けている。その様式を事業者に提示する際、データが入力されていない電子ファイルを送付すべきところ、別事業所の情報を記録したファイルを使用し、データ消去が不十分であったため個人情報が出たもの。

濃厚接触者等の名簿様式に記載されていた個人情報

氏名（ふりがな）、性別、生年月日、年齢、健康観察記録（2日分の症状、健康観察終了日）、検査結果

令和4年5月11日、電子ファイルを受領した事業者（以下「事業所A」という。）から、他事業所（以下「事業所B」という。）に関するものと思われる10人分の情報が入力されているものが届いた旨の連絡が保健所にあり発覚したもの。

#### 2 原因

データが入力されていない様式を送付すべきところ、電子ファイルの管理が不十分であったため、別事業所で使用した様式を使用したもの。

#### 3 判明後の対応

事業所Aに謝罪するとともに当該データの削除をしていただいた。また、事業所Bに経緯を説明の上、謝罪した。

なお、事業所Aで当該メールを受信し内容を確認したのは事業所長の1人のみであり、他者に患者情報が伝わっていないことを確認している。

#### 4 再発防止策

保健所で使用する電子ファイルの管理を徹底するとともに、電子メールを送信する際は添付ファイルを含め複数の職員でダブルチェックした上で送信する。また、今後このようなことが再び起きないように改めて注意喚起を行い、再発防止に努める。